

SUNTORY

－ 事例紹介 －

# 次世代環境教育「水育」と今後の展開

2024年4月19日  
サントリーホールディングス株式会社  
サステナビリティ経営推進本部 部長  
瀬田玄通

# サントリーグループ概要

## サントリーホールディングス株式会社

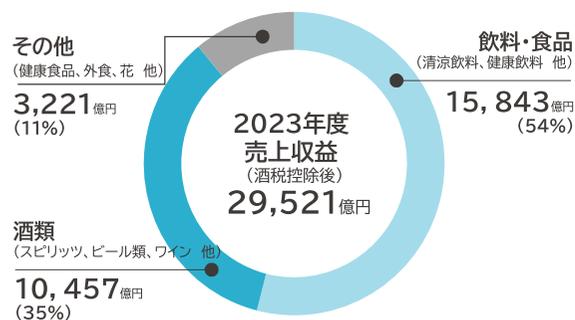
創業 : 1899年  
 代表取締役会長 : 佐治 信忠  
 代表取締役社長 : 新浪 剛史  
 連結売上収益(酒税控除後) : 26,588億円 \*1  
 連結売上収益(酒税込み) : 29,701億円 \*1  
 連結営業利益 : 2,765億円 \*1

\*1 : 2022年1月1日~2022年12月31日

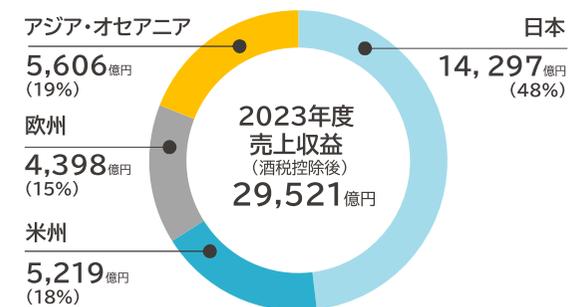
## 商品・サービス



## 事業セグメント別売上



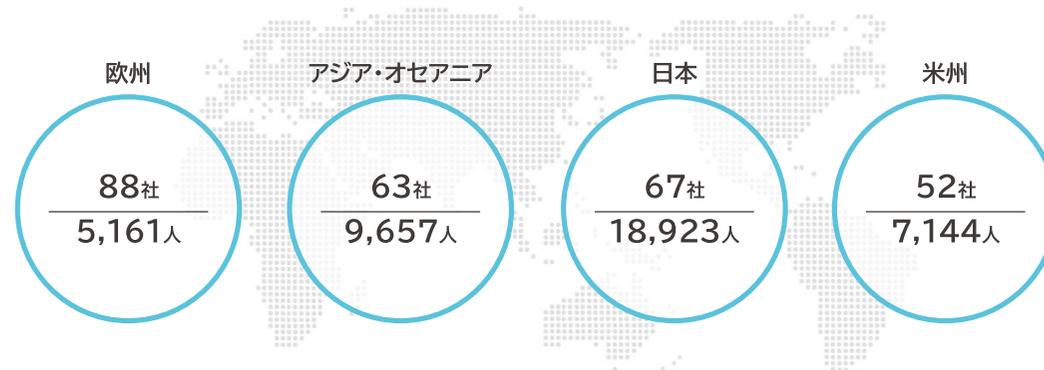
## 地域別売上



## 地域別グループ会社数/従業員数

グループ会社数 : 270社 \*2  
 従業員数 : 40,885人 \*2

\*2 : 2022年12月31日現在

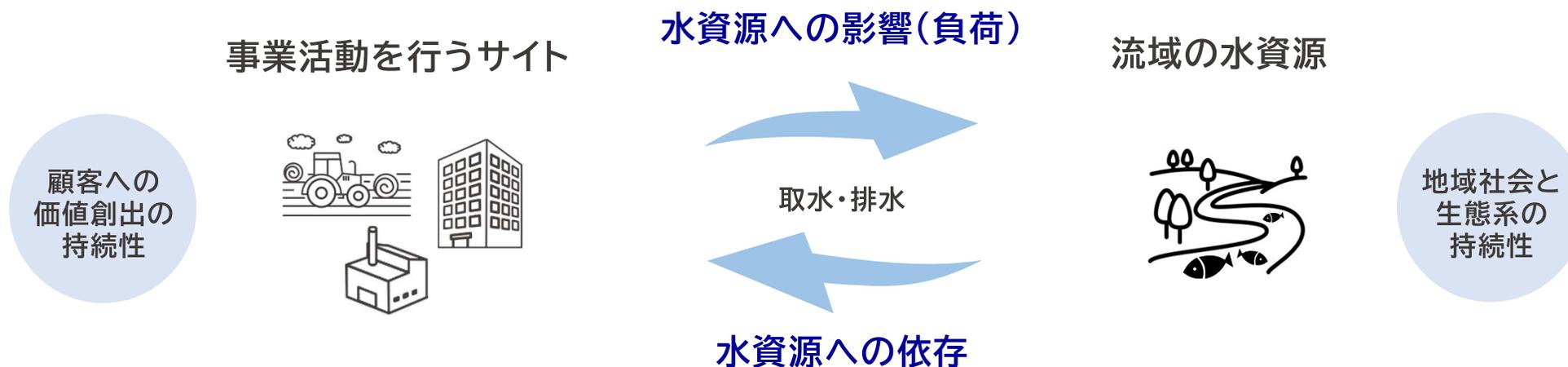


### 人と自然と響きあう社会の実現へ

サントリーグループは、水や農作物など自然の恵みに支えられた総合酒類食品企業として、自然環境を守り育むことと、人々の生活を潤い豊かにすることが共存し、すべての生命が輝ける社会を、皆さまと共にめざします。



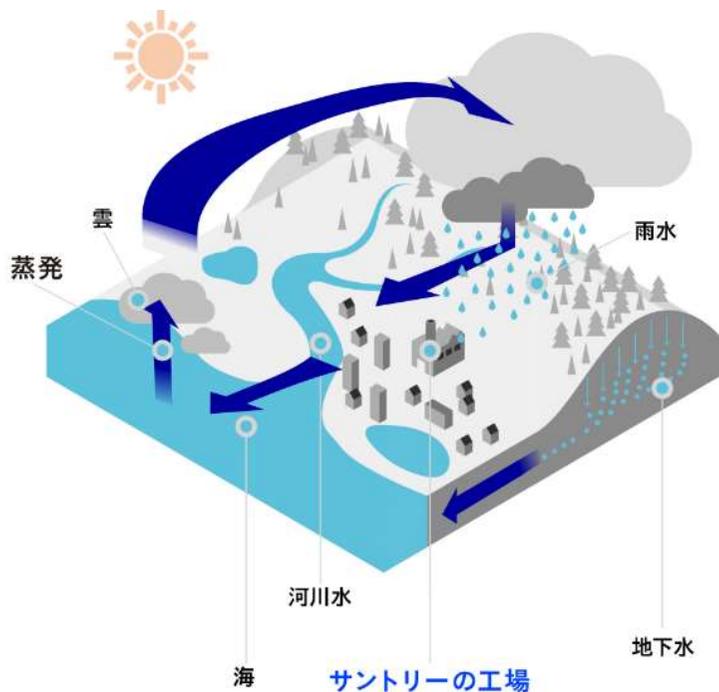
## サントリーの事業活動は自然界の水循環の一部



**「ビジネスによる価値創出」と「地域社会、生態系」を持続するため、流域の水資源を健全に維持することはサントリーの基幹事業である**

## サントリーグループ「水理念」

SUNTORY



### サントリーグループ「水理念」

2017年1月制定

#### 1.水循環を知る

使用する水の循環について科学的アプローチに従って流域を調べ、理解を深めます。

#### 2.大切に使う

水の3R(Reduce/Reuse/Recycle)活動を通じて節水に努め、浄化した水は自然に還し、環境インパクトを軽減します。

#### 3.水源を守る

サステナブルな未来を実現していくため、ステークホルダーと協力しながら使用する水の水源保全に努めます。

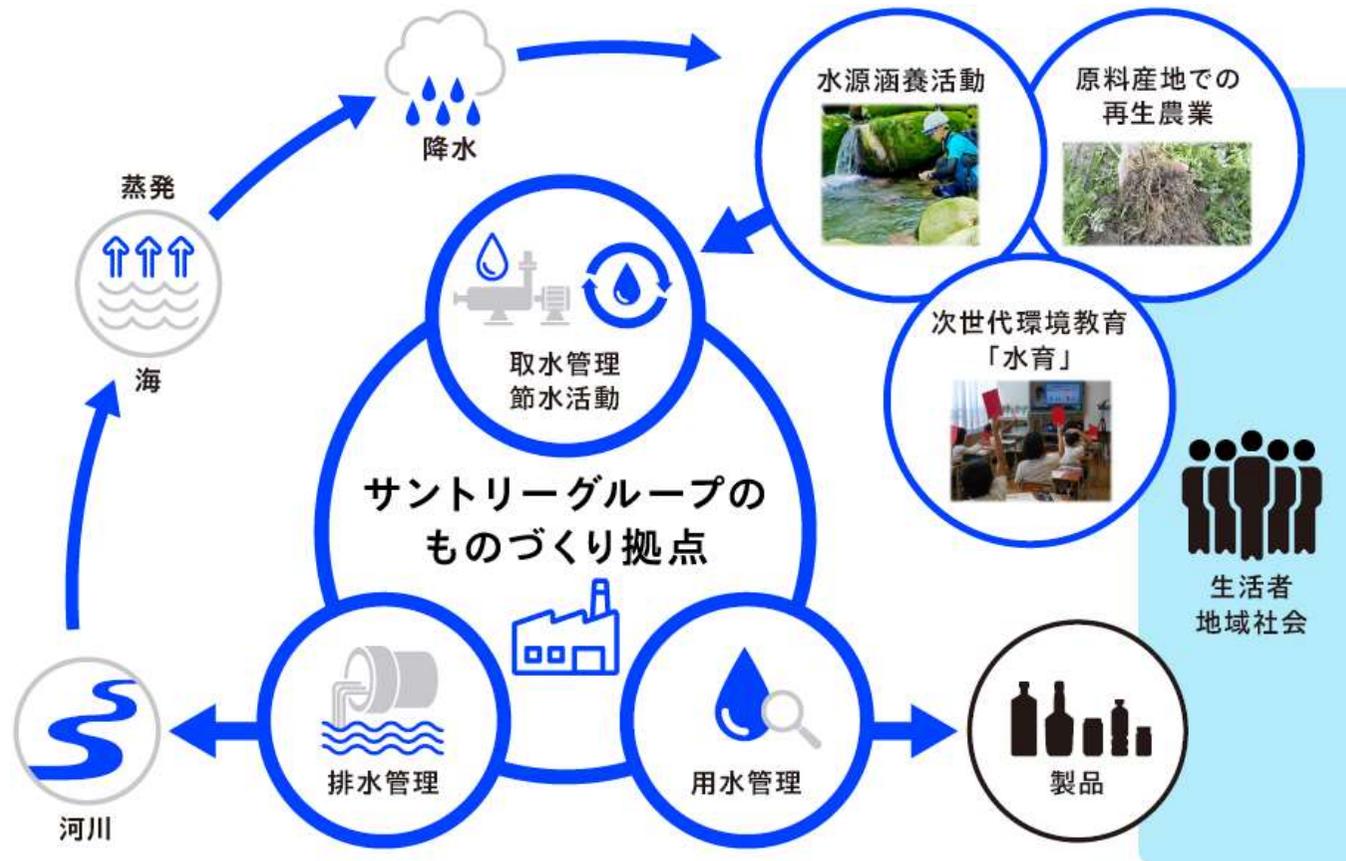
#### 4.地域社会と共に取組む

社会が豊かになるように、水課題の解決への貢献を通じて地域コミュニティを支援します。

### サントリーグループ環境基本方針:

バリューチェーン全体を視野に、事業を展開する各地域で自然界における水の健全な循環に貢献するため、事業活動において最も重要な資源である水を大切に取り扱い、使用する量以上の水を地域で育むことに努めます。

## 健全な水循環を守る水のサステナビリティ活動を地域とともに推進



子どもたちが、自然のすばらしさを感じ、  
水の大切さに気づき、未来に水を引き継ぐために  
何ができるかを考えるきっかけとなる。

## mizuku

### 教育内容

- 水の大切さと水循環を理解してもらう
- ローカルな水課題を理解してもらう
- 水に関する課題を子供たちから周囲にも共有し、  
地域社会の意識変容に繋げる

## 水育

「水育」はサントリーの登録商標

### 「森と水の学校」



「サントリー天然水」のふるさとで開かれる自然体験プログラム

白州校(山梨県)・北アルプス校(長野県)  
・奥大山校(鳥取県) 阿蘇校(熊本県)  
リモート校(オンライン)  
対象:小学校3~6年生と保護者

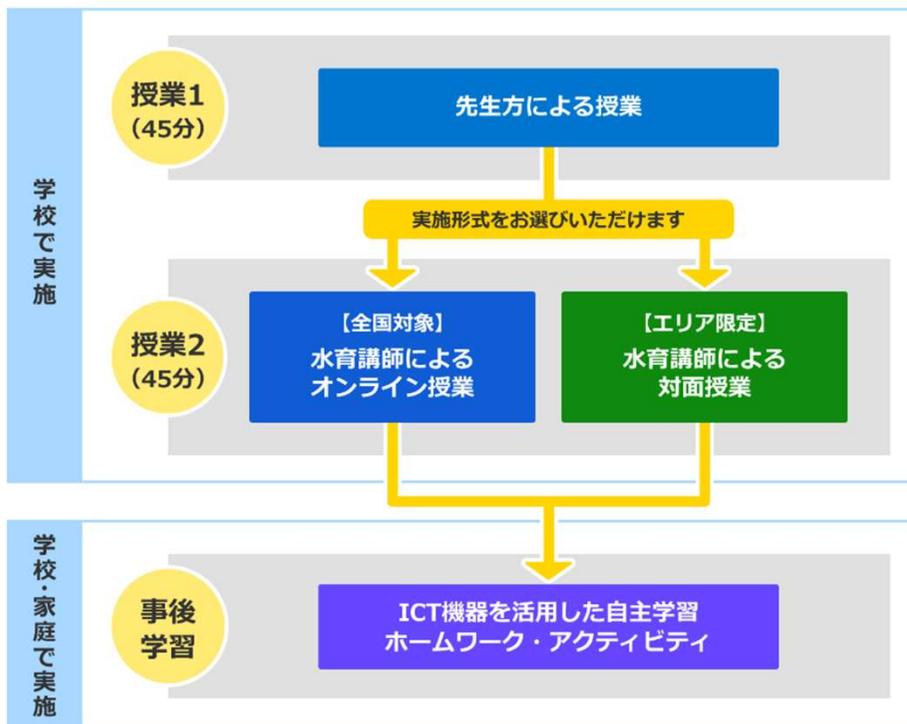
### 「出張授業」



社会科等の単元として担任の先生と水育講師で行う授業

<対面> 長野県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、岐阜県、  
愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、熊本県  
<オンライン> 全国  
対象:小学校4・5年生

国内で2004年より始めた「水育」は、累計参加者が25万人を超えました



テーマ：「未来に水を引きつぐために」

授業のねらい

「未来に水を引きつぐ」ことの大切さや必要性を気づかせ、これからも水について考え、行動し続けようという気持ちを持たせる。

授業1 (45分)

先生方による授業

わたしたちの生活と水循環



授業2 (45分)

水育講師による授業 (オンライン)

※1クラスごとの実施

水を育む自然を守るための工夫や努力



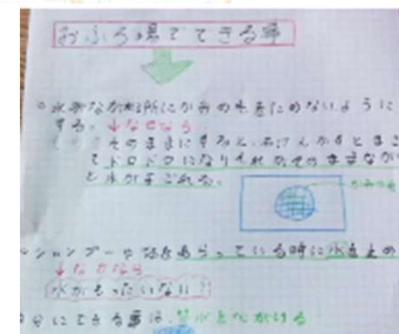
学校指導要領における、小学4年生の社会科「水」・5年生社会科「森林」、理科、総合学習の教科として、クラス単位で実施いただける授業

## 「出張授業」の事後学習 ホームワークアクティビティ

GIGAスクール構想の一人1台端末に対応し、学校と家庭をつなぎ生活の中での実践的な学びを促す

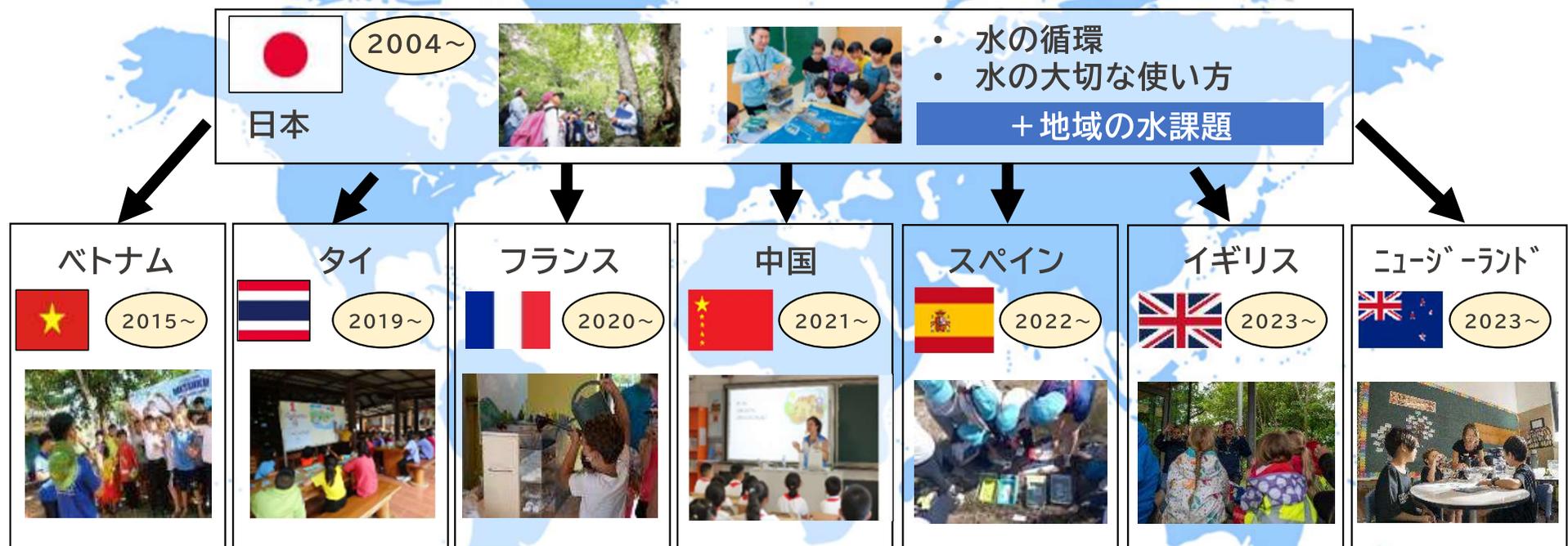
「出張授業」を受けた児童が楽しく水循環を学ぶ

水に関するレポートや写真を発信



クイズやリサーチを通して、学校と家庭をつなぎ生活の中での実践的な学びを促します

## 地域を超えた普遍的な教育プログラムとしてアジア、欧州に広く展開



### 国内参加者の声

十数年前に  
森と水の学校へ  
参加した児童

今回は自分が講師になって  
子供たちに  
「水育」を教えたい

森と水の学校へ  
参加した保護者

事業に使う水を森で育み、  
教育まで行う  
サントリーに感銘を受けた

離島の学校で  
リモート授業を  
実施した教員

遠隔地にも機会均等な学び  
を提供されている、  
サントリーに感謝したい

### 東南アジア 講師の声

「水育」には3つの効果がある

①

子供たちと教員に  
水を大切にする意識が芽生えること

②

学校での節水が進む点  
(500L/日以上を節水した学校も)

③

水の大切さが子供たちから、  
家族や友人など周囲に伝播する点

「水育」は子供たちに加え、周囲の人々の意識・行動変容に繋がる

## 「水育」のインパクトプロセス



### 理解の促進

- 地球の水循環を理解し、わたしたちの生活が水循環に影響を与える
- 水は森で育まれることを理解し、水を育む森を守るために工夫や努力が必要である

### 意識変容

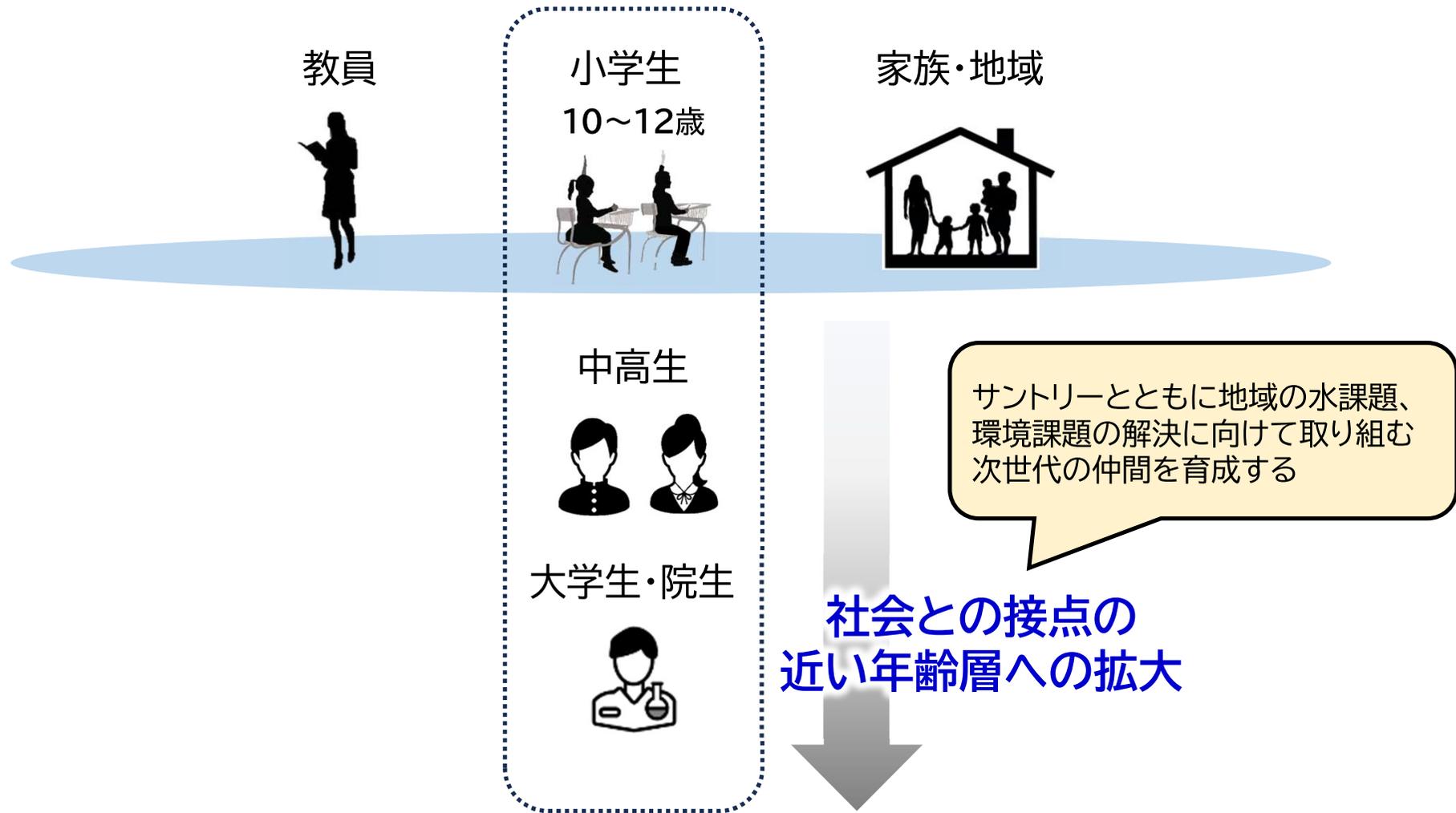
- 森と水の関係は大人になっても忘れないようにしたい
- 私たちの生活の中で、どうすれば水を大切にできるかを考えたい
- 森や自然を大切にすることを仕事にする人が増えたらいいなと思った

### 行動変容

- 子供たち自身が、学校や家での生活の中で節水活動を進める
- 子供たちを通じて、家族、地域への啓発活動が進む
- 水育講師など、自分自身が森や水、自然を守る仕事につく

## 社会的なインパクトを高めるための新たなアプローチの方向性

SUNTORY



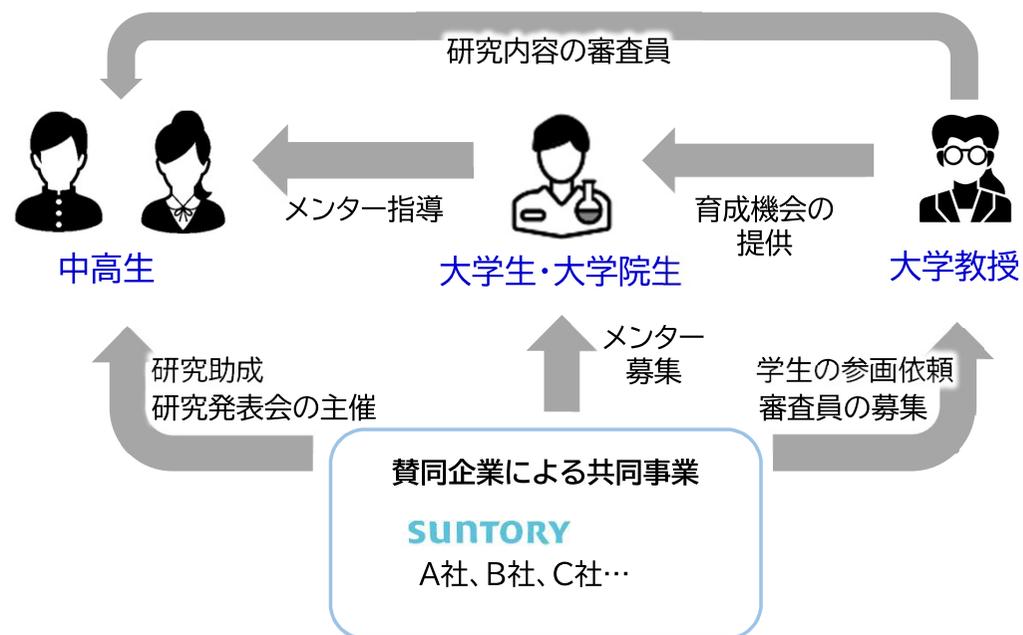
## ■ 中高生を対象とした研究助成プログラム構想

### 課題認識

- 国内外の地域社会の発展、企業の長期的な事業成長を担保するために、水や農業の安全保障は最重要課題となる
- その基盤を支える、水循環、土壌、生態系を守る研究や事業を支える人材の育成は今後ますます重要性を増す

### 目的

水文学、土壌生態学、森林科学、農業科学を担う次世代の研究者を増やす



賛同企業による共同事業として現役大学生、中高生による研究活動促進プログラムの開発を目指す



# 水と生きる SUNTORY



Harumichi\_Seta@Suntory.co.jp